

消費税を増税しないことを求める意見書の
国への提出を求める請願

いま政府は、「年金・社会保障財源」を口実に、消費税率を引き上げようとしています。貧困と格差が広がるなか、市民の生活は困窮しています。

新日本婦人の会の家計簿集計でも1998年以降実収入は減り続けています。各種控除の縮小・廃止や定率減税の全廃などによる増税や社会保険料の大幅増が収入減に追い討ちをかけ、家計は悲鳴をあげています。そのうえ消費税増税が実施されたら、くらしも営業も景気もさらに悪くなってしまいます。

「社会保障」の財源は、ムダな大型開発や軍事費を見直すなど税金の使い方を変えること、大企業・大資産家優遇の減税をやめ、能力に応じた公平な課税を求めることでつくることができます。

私たちは、消費税増税に反対です。増税計画をただちにやめることを強く求めます。

よって町田市議会におかれましては、国に対し、以下の項目について意見書を提出することを求めるものです。

【請願項目】

- 1、消費税の増税をしないこと
- 2、食料品は非課税にすること